

《プレセッション》

静岡県立大学学内競争的資金による
研究成果発表

【US(University of Shizuoka)フォーラム 2025】

令和7年9月 30 日(火)

10:00~10:50、11:00~11:50 ポスター発表

13:00~16:00 口頭発表



発表以外の研究要旨はこちらから
(静岡県立大学ホームページ)

「USフォーラム 2025」 口頭発表プログラム

会場:看護学部棟4階 13411講義室

13:05 ~ 13:10 開会挨拶										
令和6年度 教員特別研究推進費 採択研究課題										
時間	所要時間	座長	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集頁		
						職名	氏名			
1	13:10 ~ 13:20	0:10	教授 熊澤 茂則	3	リン脂質クオリティが骨格筋機能を制御する2 (骨格筋特異的LPLAT7過剰発現マウスを用いた解析)	食品	教授	三浦 進司	160	
2	13:20 ~ 13:30	0:10		3	熱ストレスによる細胞質へのDNA遊離—太陽光曝露による皮膚老化と発がんへの関与	食品	教授	伊吹 裕子	163	
3	13:30 ~ 13:40	0:10		2	緑茶の立体的おいしさ表現を可能とするフレーバーホイール生成AIの開発	食品	准教授	伊藤 圭祐	130	
4	13:40 ~ 13:50	0:10		3	腸内細菌代謝物フェノールの生成阻害剤の開発	食品	教授	三好 規之	167	
5	13:50 ~ 14:00	0:10	教授 飯野 勝己	2	静岡市葵区井川における南アルプスユネスコエコパーク移行地域としての可能性の探究 —在来作物の栽培と食からみる自然と文化の連関—	国際	助教	村橋 勲	196	
6	14:00 ~ 14:10	0:10		1	フランスにおける公共史の実践:パリとリヨンの調査	国際	教授	剣持 久木	179	
7	14:10 ~ 14:20	0:10	教授 眞鍋 敬	3	去勢抵抗性前立腺がん進行の原因タンパク質AR-V7の転写複合体の解明	薬	准教授	志津 怜太	95	
8	14:20 ~ 14:30	0:10		2	インスリン分泌後のメンブレンリサイクリング	薬	准教授	木村 俊秀	38	
(休憩)										
時間	所要時間	座長	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集頁		
						職名	氏名			
9	14:40 ~ 14:50	0:10	教授 眞鍋 敬	3	バイオミメティックリポソームを用いたタンパク質送達に関する基盤技術の構築	薬	准教授	小出 裕之	83	
10	14:50 ~ 15:00	0:10		2	出芽酵母遺伝子異種発現系を基盤とした薬用植物由来アルカロイドの創出	薬	准教授	佐藤 道大	13	
11	15:00 ~ 15:10	0:10		3	医薬品のリード化合物として期待されるバルメロライドAの合成研究	薬	准教授	稲井 誠	101	
12	15:10 ~ 15:20	0:10		3	脂質代謝の破綻と老化が連動する仕組み	薬	准教授	土谷 正樹	84	
13	15:20 ~ 15:30	0:10	准教授 カウクルアムアン・アムナー	5	静岡市内におけるアジア向け茶観光商品促進による地域活性化	経情	准教授	カウクルアムアン・アムナー	224	
14	15:30 ~ 15:40	0:10	教授 林 恵嗣	1	対話型鑑賞は歯科衛生士のネガティブケイバリティを育むか	短大	准教授	金山 圭一	266	
15	15:40 ~ 15:50	0:10	教授 篁 宗一	2	地域における更年期女性の健康に関する意識の現状と健康支援の検討	看護	准教授	永谷 実穂	238	
16	15:50 ~ 16:00	0:10		2	熟練看護師による災害時に備えた自己導尿指導の実態:教育観の内容分析	看護	助教	佐藤 理乃	245	
16:00 閉会										

<研究区分>

1:教育推進 2:地域振興 3:独創・先進的研究 5:国際共同研究・国際交流の促進 学部:学部研究推進

「USフォーラム 2025」ポスター発表プログラム

会場：看護学部棟4階 13402講義室ほか

開 会								
令和6年度 教員特別研究推進費 採択研究課題(前半27件、後半27件 計54件)								
	時間	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集頁	
					職名	氏名		
1	前半の部 (奇数番号) 10:00 ~10:50	2	おたふくかぜウイルスの酵素阻害剤の開発とその耐性化機構の解明	薬	准教授	高橋 忠伸	14	
2		2	肝がん関連線維芽細胞の運命を制御する新規肝がん治療戦略の開発	薬	助教	大岡 央	73	
3		2	ノビレチン搭載β細胞指向性ナノ粒子の抗糖尿病効果の検証	薬	講師	金子 雪子	31	
4		2	オンサイトでの迅速・簡便な核酸増幅検査に向けたリコンビナーゼ・ポリメラーゼ増幅法の改良	薬	准教授	兒島 憲二	71	
5		2	大腸がん抑制作用を示すジオスゲニンの機能解明を志向した有機合成化学的アプローチ	薬	准教授	吉村 文彦	24	
6		2	有機/生物合成によるシストセンチュウ孵化誘因物質の実用的供給法の開発	薬	助教	渡邊 正悟	21	
7		2	溶解性改善技術の適用による茶葉由来難水溶性機能性成分の経口吸収性増大	薬	助教	山田 幸平	34	
8		2	薬物組成の柔軟な制御を目指した共結晶化基盤技術の構築	薬	助教	畑中 友太	74	
9		2	柑橘系果皮含有成分ノビレチン及び脱メトキシ代謝産物の体内動態解析	薬	講師	砂川 陽一	54	
10		2	循環器組織の遺伝子転写物をターゲットとしたトランスクリプトーム解析法の検討	薬	助教	清水 聡史	29	
11		後半の部 (偶数番号) 11:00 ~11:50	3	細胞内局所温度変化を感知する機構とその意義の解明	食品	准教授	内田 邦敏	165
12			2	小腸上皮細胞間隙のNa透過性とその制御機構の解析	食品	准教授	林 久由	127
13			2	脂肪組織のPDK1-mTOR経路が全身の代謝に及ぼす影響とメカニズムの解明	食品	准教授	細岡 哲也	128
14			2	加齢による脂肪組織の質的変化のメカニズムとサルコペニア発症に及ぼす影響の解明	食品	助教	伊美 友紀子	140
15			2	家畜排せつ物・生ごみ・し尿などの廃棄物系バイオマスを原料としたバイオ液肥の安全性評価	食品	助教	徳村 雅弘	144
16			2	特定保健指導の実施データを用いた管理栄養士の指導の質に関する検討	食品	助教	榛葉 有希	148
17			2	静岡県におけるプライマリケア施設までの道路距離と脳卒中による死亡率との相関関係	看護	助教	中岡 正昭	247
18			2	孫育てをするシニア世代の交流の場ーじじい・ばばカフェ(仮)ーの効果	看護	助教	池田 麻左子	243
19			1	次世代を担う人材育成を目指した看護学教育DXプログラムの検討	看護	助教	鈴木 郁美	230
20			2	開業助産師が考える「待つお産」のとらえ方	看護	助教	池田 美音	244

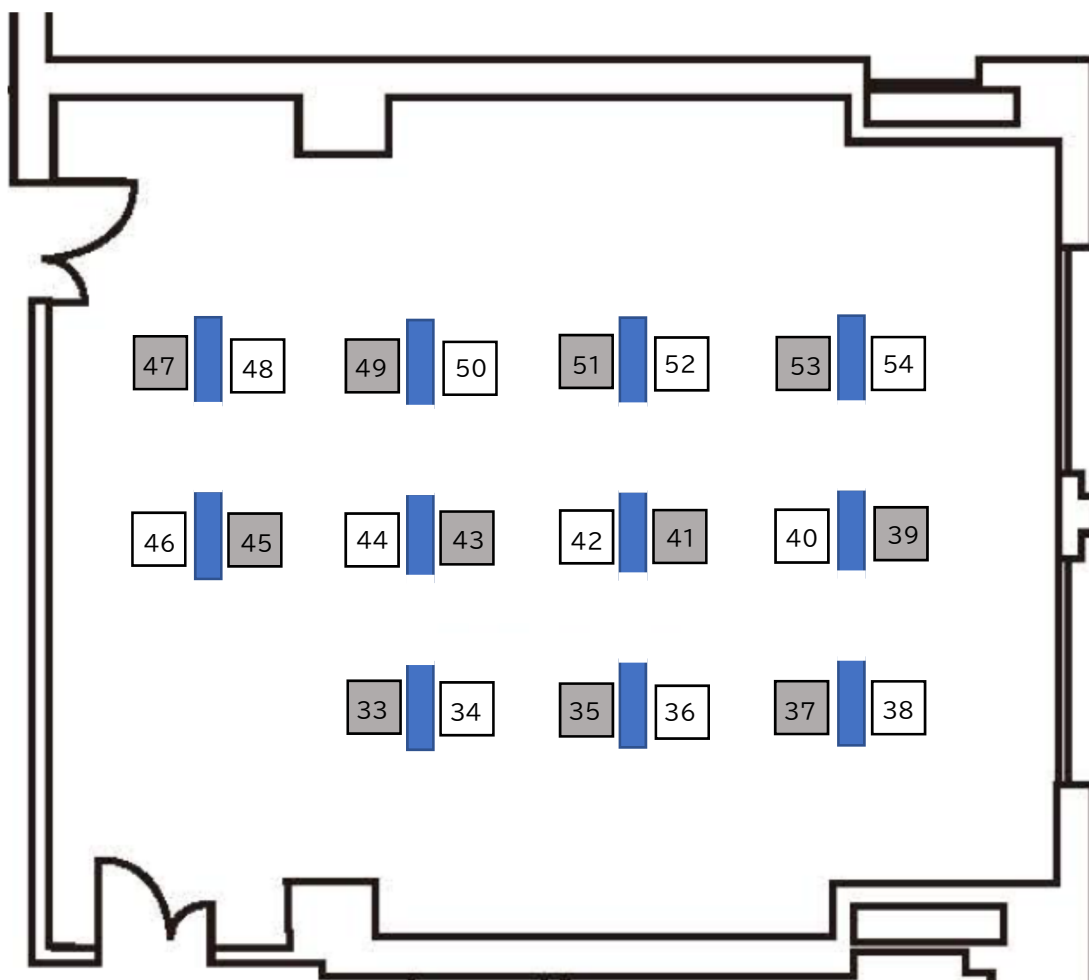
「USフォーラム 2025」ポスター発表プログラム

	時間	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集頁	
					職名	氏名		
21	前半の部 (奇数番号) 10:00 ~10:50	5	持続可能なグローバル看護教育プログラムへの取り組み	看護	講師	根岸 まゆみ	256	
22		2	医療ケアの必要な未就園の子どもをもつ母親同士のピアサポートによる効果に関する研究	看護	助教	長屋 和美	242	
23		1	介護予防を包摂した口腔保健の実践力を修得するための教育プログラム—地域包括ケアシステムに生きる歯科衛生士の育成—	短大	講師	山本 智美	267	
24		1	特別養護老人ホームにおけるシーティング実施に係る調査研究	短大	准教授	木林 身江子	268	
25		2	幼稚園における施設・空間の保育的価値の社会学的研究	短大	講師	甲賀 崇史	277	
26		2	温室メロン栽培におけるミナミキイロアザミウマによる食害影響と環境要因解析	食品	助教	増井 昇	149	
27		2	多環芳香族類を基盤とした高溶解性光触媒系の創生と応用	食品	助教	岡本 衆資	150	
28		2	静岡ガス(株)ビオトープ内に生息するマシジミの新規生息地への移植による資源量の最大化の試み	食品	助教	明正 大純	151	
29		2	カルシウムイオンによる褐色脂肪細胞の熱産生制御機構の解明	食品	助教	岩瀬 麻里	141	
30		2	静岡県に由来する新規メタン酸化細菌の機能解析と未培養菌の培養	食品	助教	梅澤 和寛	145	
31		2	通電加熱による大豆イソフラボン熱変換反応の定量的評価	食品	助教	村上 和弥	146	
32		後半の部 (偶数番号) 11:00 ~11:50	2	有機リン系殺菌剤トルクロホスメチルのコリンエステラーゼ阻害能評価に関する研究	食品	教授	牧野 正和	114
33			1	地域実践力を育成するための海外フィールド実習と教育研究	国際	准教授	孫 暁剛	182
34			2	静岡県内地域方言の社会言語学的研究	国際	教授	長野 明子	191
35			2	多様化する世界と静岡県経済・企業への持続可能性への影響	国際	准教授	宮崎 晋生	195
36			1	様々な文脈における日英語の注意喚起・警告と対人配慮戦略	国際	准教授	田村 敏広	184
37			1	非法学部学生に対する法教育のあり方に関する検討:法意識と法的知識の向上	国際	准教授	石川 義道	186
38			5	複数のCOIL活動の実施と参加者の満足度比較調査	国際	教授	澤崎 宏一	198
39			1	アプリケーションと連動したデータベース言語学習支援システムの開発	経情	助教	相良 陸成	204
40			5	ヨーロッパと日本の国際推進事業のプログラム化の開発:連携から協働	経情	教授	上野 雄史	223
41			2	固定型から可搬型への自立型防災通信ステーションの転換に関する研究	経情	教授	湯瀬 裕昭	219
42	1	AIの実践的教育の実現:基礎技術から最新の応用まで	経情	助教	小田 紘久	200		
43	2	介護人材の確保と定着に関する政策と現場の取り組み	経情	准教授	天野 ゆかり	208		

「USフォーラム 2025」ポスター発表プログラム

	時間	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨 集頁	
					職名	氏名		
44	前半の部 (奇数番号) 10:00 ~10:50	1	A Staff Development Program for Workplace English Communication Proficiency: Exploring Functional Formats for Lifelong Learning	言コミ	特任講師	アルジャフスカヤ エカテリナ	260	
45		2	患者アドヒアランス低下防止を目的とした錠剤着色の客観的評価法の確立及び着色要因の検討	薬	講師	三浦 基靖	23	
46		2	肝疾患治療薬としてのFFA3アゴニストの合成研究	薬	講師	岩本 憲人	70	
47		2	Pd-DHTP触媒を用いる3-置換インドールのC3位選択的な脱芳香族的アリアル化によるインドレニン合成と多様なインドリン類への変換	薬	助教	山口 深雪	17	
48		3	脊椎動物由来コンデンシン I の機能未知ドメインの構造と機能の解明	薬	准教授	原 幸大	78	
49		後半の部 (偶数番号) 11:00 ~11:50	3	凝集したヌクレオソームの緩和を促進するユビキチンリガーゼの構造生物学的解明	薬	講師	菱木 麻美	93
50			3	ケトン触媒の新展開:高活性ラジカル種の効率的調製と位置選択的C-H官能基化反応への応用	薬	助教	山下 賢二	102
51			2	骨格筋疾患治療に向けたイオニックメディシンの創出	薬	助教	平野 航太郎	77
52			2	腸内細菌代謝産物によるパイエル板貧食細胞の抗原取り込み促進作用の解析	薬	助教	中西 勝宏	49
53			2	腸管における侵害刺激受容体を介した経口免疫寛容成立メカニズムの解明	薬	助教	岡村 洋	75
54	2	褐藻類抽出エキスの下部尿路障害に対する機能性の検討	薬	講師	伊藤 由彦	25		
11:50 終了								
<研究区分> 1:教育推進 2:地域振興 3:独創・先進的研究 5:国際共同研究・国際交流の促進 学部:学部研究推進								

【13402講義室】



受付